

第4学年 国語科学習指導案

1組	児童	男子13名	女子14名	計27名
	指導者	教諭	大鷹 祐子	
2組	児童	男子15名	女子14名	計29名
	指導者	教諭	金田 郁子	

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
 教材名 中核教材「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」
 補助教材 新聞の切り抜き（出典：未定）

2 単元について

(1) 児童観

児童は、「かむ」ことの力を通して、段落の中心となる語や文をとらえて要点をまとめたり、接続語を意識して段落相互の関係を理解したりする学習を行ってきた。児童は、接続語や大切な言葉に着目して、要点をまとめたり、大きなくくりで文章を読んだりしようとしているが、その適切さにおいて個人差がある。また、内容と結びつけて書きぶりを考える力や文章・段落相互の関係を理解する力もまだ身に付いていない。「新聞記者になろう」では、話題を選んで取材し、正確に伝えるための仕方を学んできた。割り付けや見出しを工夫し、事実を詳しく書くための工夫についても学んでいる。新聞づくりには意欲をもって取り組んだが、取材したことの中から伝えたいことを整理して書く力はまだ十分とはいえない。書く活動における個人差も大きく、個別に支援していく児童が数名いる。

以上のことから考えると、自分の考えを相手に分かりやすくまとめ、伝える力が十分に身につけていないことが分かる。相手に、自分の考えが分かりやすく伝わるような文章を書く力をつけさせていかなければならないと考え、本単元を構想した。

事前テストの結果は以下の通りである。

問 題	学年正答率
①写真と段落の関係（段落の内容に合った写真を選択する。）	76%
②アップとルーズの理解（必要な事柄を文中から字数制限で抜き出す。）	82%
③接続語の役割（「このように」の役割と、「この」が指し示す段落。）	10%
④段落相互の関係（初め・中・終わりで文章を3つに分ける。）	7%

〈①について〉段落と写真を照らし合わせることは、だいたいできている。

〈②について〉だいたいできている。

〈③について〉「このように」の役割は理解しているが、形式的に読んでいるため、大きなまとまりとして指摘する指示語の内容を読み取ることが苦手である。

〈④について〉「このように」の後の段落をひとまとめにしている児童が多かった。

以上のことから、細かくは読めるが、文章全体を大きく読むことができていないと考える。

(2) 教材観

第3、4学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる」である。以上から、本単元は、「読むこと」と「書くこと」を関連させて学習を進めていくために、「アップとルーズで伝える」で読み取ったことを活かし、「四年三組から発信します」で取材したことを伝えたいことに合わせて選択し、発信していく学習活動へつなげていく複合的なものになっている。

「アップとルーズで伝える」はテレビの映像技法を中心に述べられたもので、児童にも身近に感じられる内容である。テレビの情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものである事に気付かせる教材として適している。また、形式段落に対応して具体的な写真資料が提示されたり、内容が対比的に書かれていたりして分かりやすく構成しているため、段落相互の関係をとらえたり正しく文章を読んでいったりする力を高めていくのに適した教材といえる。

「4年3組から発信します」については、自らが情報の発信者となり、身の回りの事柄について情報の収集・選択・発信までの活動を行う。収集した情報から、相手や目的に合う文や写真を選択する力を高めていくのに適した教材といえる。

(3) 指導観

本単元では、「読むこと」については、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりすること、「書くこと」については、相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり選択したりして分かりやすく書くことをねらいとしている。そのために、「アップとルーズで伝える」では、写真と対応した部分に注意して読むこと、指示語や接続語に着目したり、小見出しや大見出しをつけたりすることで段落相互の関係や文章全体の構成を掴むことを児童に身につけさせたい力として押さえていく。さらに、それらを発展させ、「四年三組から発信します」では、伝えたい相手や伝えたい内容に合った材料を集め、その中から伝えたい事柄を選ぶこと、相手に応じた書き方や伝えたい内容にあった写真を選ぶことを「書くこと」の身につけさせたい力として押さえていく。「アップとルーズで伝える」から学ぶ内容や叙述の仕方などが、ゴールである学校紹介カードを作成する上で役に立つということを常に意識させたい。

本単元の進め方としては、「つかむ」段階で、学校の映像から様々な撮り方がある事に気付かせた後、単元名とリード文から学習内容を知らせる。その後、単元のゴールを明確化し、そのゴールにたどり着くためには既習事項に本単元で身につく力を加えれば達成できることを意識させて、意欲の高揚化を図っていききたい。あわせて、学校紹介カードを作るための取材も並行して行っていききたい。「見通す」段階では、教材文を大まかに読み取る。その際、筆者の伝えたいことを捉え、まとまりごとに読み取っていくための手がかりとしたい。「深める」段階では、写真と文章の関係を考えながらまとまりごとに読み取っていく。写真にキャプションをつける活動や、接続語や指示語などに注意させることで、まとまりごとに段落相互の関係をとらえさせていききたい。「確かめる」では、「深める」で読み取ってきた内容をもとに各段落に小見出しをつけて文章全体の文章構成を明らかにする。「活かす」では、「深める」で読み取った内容と叙述を活かして学校紹介カードを作成する。相手・目的意識を明確にし、意図を持って情報を発信できるようにさせたい。

【仮説に関わって】

手だて1 活用することを意識した単元構成の工夫

ゴールを明確にするために、導入時にサンプルを提示する。その際、相手・目的意識を明確にし、以後の学習の意欲付けとする。「アップとルーズで伝える」で読み取った内容や文章構成（書きぶり）を活かしていききたい。

手だて2 個の学びを深める言語活動の取り上げ方の工夫

「深める」段階では、指示語や接続語に着目して段落相互の関係を捉えたり、段落と写真を照らし合わせながら読んだりする。

「活かす」段階では、サンプルを提示して見通しをもって活動できるようにしたい。学び合いの後に、一人学びの場を設定し、自分の考えをもう一度練る時間を作りたい。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気付き、自分が表現していくときに役立てようとしている。

【読むこと】

- ・各段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえている。(イ)
- ・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。(イ)

【書くこと】

- ・取材したことを相手に応じて分かりやすく書いている。(ウ)
- ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。(ア)

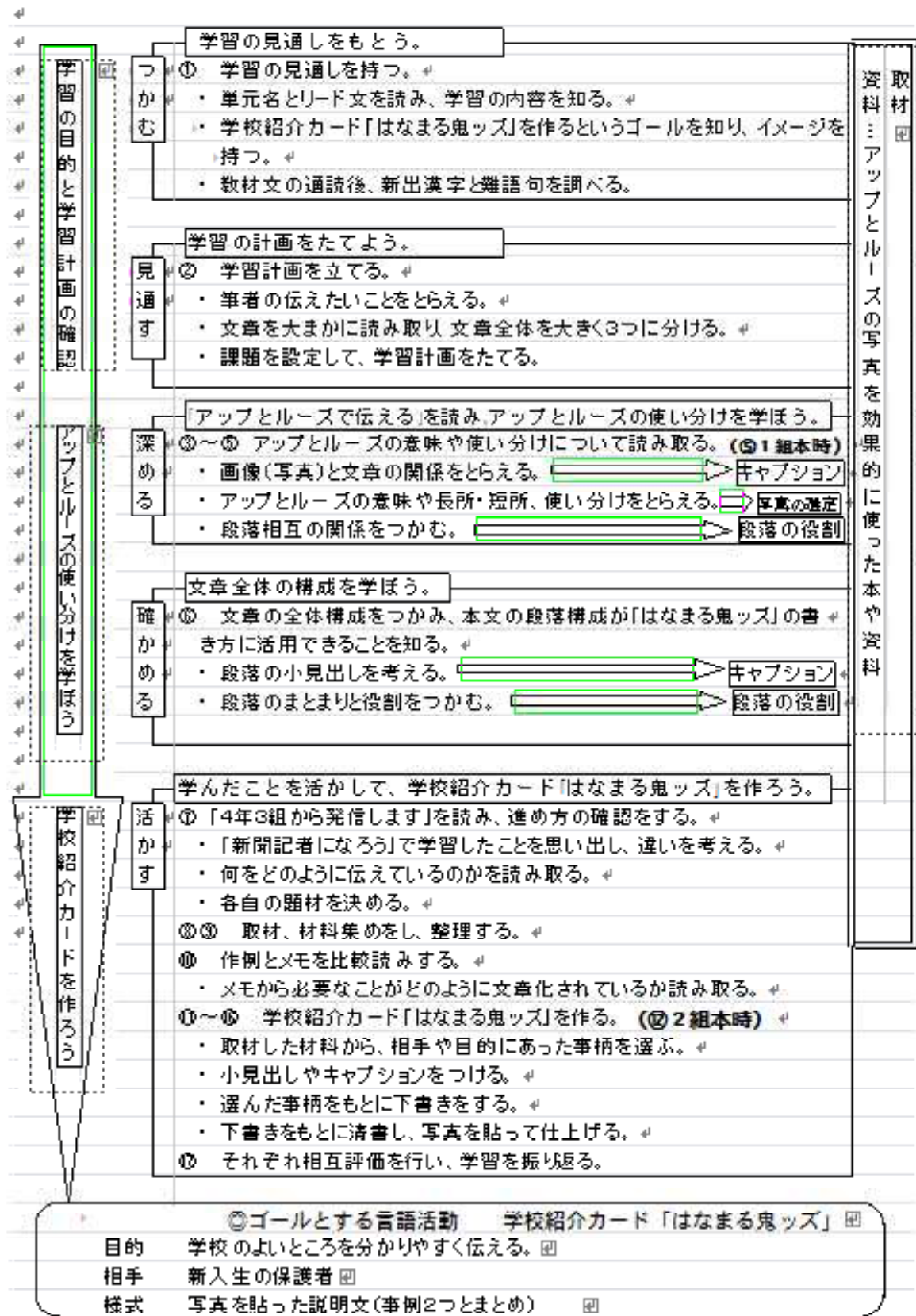
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解する。 イー (エ)

4 単元構想図 ④

単元名 材料の選び方を考えよう ④

目標 アップとルーズが、目的に応じて使い分けられていることを読み取り、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。④



5 単元の指導計画と評価（全17時間）

次	時	主な学習活動	関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
1 つ か む	1	・単元名とリード文から、学習の見通しを持つ。	・どんなことを知らせたいか意欲をもって考えようとしている。			・新出漢字、読み替え漢字を読んでいる。
2 見 通 す	2	・課題を設定して、学習計画をたてる。			・段落の内容を大まかに読み取り、大きく3つに分けている。(イ) ・筆者の伝えたいことをとらえている。(エ)	・段落の役割を理解し、段落分けをしている。
3 深 め る	3 4 5 一 組 本 時	・段落にどんなことが書いてあるか読み取る。			・段落と写真の関係を理解し、「アップ」と「ルーズ」の意味やそれぞれの長所・短所、目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。(エ)	・指示語や接続語に注意して読んでいる。
4 確 か め る	6	・文章の全体構成を理解する。			・段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をとらえている。(イ)	・段落の役割を理解している。
5 活 か す	7	・「4年3組から発信します」を読み、これから行う学習についての確認をする。	・教材文から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信する活動に意欲をもって行おうとしている。	・相手が知りたいことを考えて、題材を選んでいる。(ア)		
	8 9	・取材したり資料を集めたりする。	・意欲的に収集しようとしている。	・相手や目的に応じて、必要な事柄を調べている。(ア)		
	10	・教科書の作例から、記事の書き方や写真の選び方について学ぶ。			・教科書の作例から、記事の書き方や写真の選び方がわかっている。(エ)	
	11 12 二 組 本 時	・取材した事柄から、相手や目的にあった材料を選ぶ。		・集めた材料から、相手や目的に応じて、伝えたい事柄を選んでいる。(ア)		
	13 14	・選んだ材料をもとに、記事の下書きをする。		・相手を意識して、分かりやすく書いている。(ウ)		
	15 16	・下書きを見直し、見出しを考える。 ・下書きをもとに清書し、写真を貼って仕上げる。	・友達の見解も参考にしながら意欲的に作業しようとしている。	・何を伝えたいか見出しを考えて書いている。(イ)		
	17	・完成したカードを読み合い、感想などを交流して、学習を振り返る。		・文章のよいところを見つけている。(オ)		

6 本時の指導 【5 / 17時 4年1組】

(1) 目標

アップとルーズが、目的に応じて使い分けられていることを読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

・本時のねらい

今までアップとルーズの説明や長所、短所について読み取ってきたが、本時は、新聞ではどのようにして使い分けられているかということを読み取ることがねらいである。前時までの読み取りでは、段落ごとにテレビの画面があり、内容を把握する上で視覚的にも容易であったが、本時は文章だけであり、内容を把握するには今までのように視覚に訴える資料がない。そこで、アップとルーズにおける事例を読み取ったあと、実際に新聞を使うことで児童の読み取りがさらに深まるようにしたいと考えた。

比較する新聞の写真は、同じ場面でのアップとルーズである。記事や見出しからどちらの写真を選ぶか考えさせ、伝えたい内容に合わせて写真が使われることを理解させたい。また、紙面の広さによっては、アップとルーズの写真を組み合わせていることも、例を出しながら理解させたい。

・仮説との関わりについて

手だて1 活用することを意識した単元構成の工夫

・記事に合わせた写真の選択…伝えたいことに合う写真の選び方

手だて2 個の学びを深める言語活動の取り上げ方の工夫

- ・一人学びの見通し…写真の内容の確認
- ・ワークシートの工夫
- ・一人学びしたものをもとにしたペアでの交流、その後全体交流

(3) 本時の評価の観点と具体の評価

評価の観点	具体の評価基準		努力を要する児童への手だて
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
読む能力 (エ) アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることが分かっている。	・新聞の記事を読んで、伝えたいことに気付き、写真を選んだ理由を書いている。(ワークシート)	・新聞の記事を読んで、アップかルーズの写真を選んでいる。(ワークシート)	・2枚の写真の違いを考えさせ、記事の内容と合わせて考えるように助言する。

(4) 展開

段階	学習活動と児童の反応 (・)	支援 (○) と評価 (□)
つかむ (5)	1. 前時の想起をする。 ○アップとルーズの長所と短所 2. 学習課題を確認する。 アップとルーズの写真の選び方についてまとめよう。	○⑥段落は映像のアップとルーズで、⑦段落からは写真のアップとルーズのことが書かれていることを確認する。
	3. 学習段落を音読する。	○学校紹介カード「はなまる鬼ッズ」に写真を掲載する時の判断材料になるから学習するという意識をもたせたい。
	4. ⑦段落の読み取りをする。 ○新聞における写真の使われ方について読み取る。 ・伝えたい内容に合わせて使われる。 ・紙面の広さによっては、それらを組み合わせ合わせて使われる。	○取材する時には、多くの写真が、いろいろな角度や距離からとっている事も確認する。

<p>深める (35)</p>	<p>5. 見通しを持つ。 ○写真の内容の把握 ・アップの方は～が写っている。ルーズの方は～が写っている。</p> <p>6. 一人学びをする。 ○写真を選び、選んだ理由をワークシートに書き込ませる。</p> <p>7. 学び合いをする。 ○ペア学習</p> <p>○全体の学び合い アップとルーズのどちらを選んだか、そのわけを付けて発表し合う。 ・記事に～と書いてあったので、○○が分かる方がいいと思うので□□にした。 ○⑦段落最後の2文を読み、新聞におけるアップとルーズについてまとめる。</p> <p>8. 学習のまとめをする。</p>	<p>○伝えたい内容からアップとルーズのどちらの写真が使われているかを考えることを告げる。</p> <p>○写真がどのような場面で撮られたものか知らせ、ルーズの写真と、アップの写真から考えさせる。</p> <p>○つまずいている児童には、2枚の写真の違いを考えさせ、記事の内容と合わせて考えるように助言する。</p> <p>□写真を選び、選んだ理由を考える事ができたか。(ワークシート)</p> <p>○隣同士でペア学習を行う。自分の考えが変わったときは、その理由を書き足すように話す。</p> <p>○選んだ理由から、記事の内容を考え、伝えたい内容に合わせて選んでいることに気付かせたい。</p> <p>□アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることがわかったか。(ワークシート)</p>
<p>目的にいちばん合うものを選んで使っている。</p>		
<p>まとめ (5)</p>	<p>9. 本時の振り返りをする。 ・写真を選ぶときは、目的に合うものを選んで使うこと。 ・アップとルーズでは、伝えたいことが違うから内容に合わせて選ぶ。</p> <p>10. 次時の確認をする。</p>	<p>○文章全体をみて構成について学習することを知らせる。</p>

(5) 板書計画

<p>まとめ</p> <p>目的にいちばん合うものを選んで使う</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">新聞のルーズの写真</td> <td style="padding: 5px;">新聞のアップの写真</td> </tr> </table> <p style="margin: 10px auto 10px auto;">見出し</p> <p style="text-align: right; margin-right: 10px;">選んだわけ</p>	新聞のルーズの写真	新聞のアップの写真	<p style="text-align: right;">課題</p> <p style="text-align: right;">アップとルーズで伝える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>アップとルーズの選び方について、まとめよう。</p> </div> <p>⑦写真(新聞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容に合わせて、どちらか選ぶ ・紙面の広さによっては、組み合わせる <p>取材のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな角度やきよりから 多くの写真
新聞のルーズの写真	新聞のアップの写真			

6 本時の指導【12/17時 4年2組】

(1) 目標

集めた材料から、相手や目的に応じて伝えたい事柄を選ぶことができる。

(2) 指導にあたって

本時では児童が情報の送り手として意図に合わせ、取材した複数の情報（文・写真）を相手や目的に応じて取捨選択できることをねらいとする。前時に選択した情報（文）に合わせて写真を2枚選ぶ。選択できなかつたり、意図と文と写真との整合性の検証をしたりする場合はペア学習をし、学級全体で話し合う。送り手として伝えたいこと、伝える相手やその目的が取捨選択の基準になると考えられるので相手・目的意識の明確化を図る。そのことで学習意欲の維持も図りたい。

情報の送り手として情報（文・写真）を取捨選択する時や送り手の意図と選択した情報（文・写真）の整合性を検証する時は、その訳を一次の既習事項に絡ませて表すことができるようにさせる。

相手：来年度の新入生の保護者（就学時検診の際、控え室に置かせて頂く。）

目的：鬼柳小学校の良い点・自慢できる点を伝えることで、新入生が学校に通うことを楽しみに思ってもらったり、保護者の方々に安心してもらったりできるようにする。

本時の指導の仮説との関わりは以下の通りである。

手だて1 活用することを意識した単元計画の工夫

- ・ゴール（学校紹介カード「はなまる鬼ッズ」）を意識した学習活動
- ・既習事項の活用（アップとルーズの写真の選び方などの内容と、叙述の仕方など）

手だて2 個の学びを深める指導の工夫

- ・見通しとしてのサンプル提示（情報の取捨選択とその訳）
- ・学級全体での学び合い後に一人で考える場の設定

(3) 本時の評価の観点と具体的評価基準

具体的評価観点	具体的評価基準		努力を要する児童への手だて
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
書く能力（ア） 送り手の意図を考えて、取材した情報を目的に応じて選択している。	友達が作った場合でも送り手の意図を捉え、取材した情報を目的に応じて適切に選択し、その理由も考えている。	自分が取材した情報を第一次の既習事項の理由のもとに選択している。	送り手として一番伝えたいことの明確化、それに合わせて取材したどの情報が適切か第一次の既習事項のもとに選択させる。

(4) 展開

段階	学習活動・児童の反応	支援（○）と評価（□）
つかむ	1. 前時の想起をする。 2. 学習課題を確認する。	○相手・目的意識を明確にする。
5分	3. 学習段階を音読する。 「アップとルーズで伝える」⑦⑧段落	○音読するページが課題解決のヒントになることを確かめる。
深める	4. 見通しを持つ。 ○教師作成のサンプルを参考に取材内容の選び方を確かめる。 ・文が分かりやすくなる写真を選ぶ。 5. 一人学びをする。 ○文に合わせた写真を2枚選び、訳も書く。 ・（伝えたいこと→文）→写真 6. 学び合いをする。 ○選んだ情報（文・写真）が、送り手の「伝	○既習事項をもとに取材した情報（写真）を選ぶことの確認をする。「伝えたい事」を明確にして一人学びにつなげたい。 ○文章の構成は「事実・事実・意見」の3段落にする為に写真を2枚選ぶことや字数の制限を知ることで見通しをもち一人学びに取り組みたい。 □送り手としての意図や文に合わせた写真を選

37分	<p>えたい事」に合っているか友達同士で話し合う。(ペア→学級全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項に絡ませて自分の意見を話す。 ・迷ったら学級の他の友達に意見を求める。 <p>○学び合いをして分かったことからもう一度選び直す。</p>	<p>ぶことができたか。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人学び→ペア学習→全体で交流→一人学び ○全体で確認した方がよいところで迷っている児童を意図的に当てたい。 □送り手の意図から、既習事項をもとに文や写真の整合性を考えることができたか。(ワークシート、話し合い) ○取材した情報(写真)を選んだ訳を中心に話し合い、その訳を整理していく。すると既習事項に沿ったものになると考えられる。 □送り手としての意図や文に合わせた写真を選ぶことができたか。(ワークシート)
まとめる3分	<p>7. 学習をまとめる。 整理した、情報を選択した訳を確認する。</p> <p>8. 次時の確認をする。</p>	<p>○学校紹介カード「はなまる鬼ッズ」の下書きをする事を伝える。</p>

(5) 板書計画

